№26　移住定住・交流・観光の推進＜移住定住＞(企画政策課)

令和5年度までにめざす姿

町内に住み続けることができる環境や体制の整備を図るとともに、町外から人材を呼び込むことで人口減少を抑制し、まちの活力の維持向上を図ります。

令和元年度にめざした成果

①地域の空き家を活用し移住者受入を行います。
②移住者が自治会に加入し地域活動に積極的に参加するようコーディネートします。

令和元年度にめざした活動

①なんぶ里山デザイン機構及び各地域振興協議会と連携し空き家を開拓します。
②現状の空き家一括借上げ制度の他に新たなビジネスモデルを検討します。
（専門事業者との連携を視野に）

令和元年度の成果

①これまで２４戸の空き家を移住者向けに提供しています。
②移住した方が地域の空き家に居住し、自治会活動や地域活性化に寄与する事例もでてきています。

令和元年度の問題

①移住者を呼び込むために必要な住まいが不足しています。原因としては借上げ可能な空き家が少ないことがあげられます。

令和2年度以降の方策

(1)　達成できた事項をさらに伸ばす方策

なんぶ里山デザイン機構や地域振興協議会などの関係機関との連携を強化し、空き家情報等の情報収集を強化します。

(2)　解決すべき問題への方策

空き家の利活用についての広報に力を注ぎ、新たな空き家の確保に努めます。

(3)　新たに取組む方策

空き家活用に関する新たなビジネスモデルの構築を検討し、空き家の供給数の増加に努めます。